

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月13日

【四半期会計期間】 第97期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 松井証券株式会社

【英訳名】 MATSUI SECURITIES CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松井 道夫

【本店の所在の場所】 東京都千代田区麹町一丁目4番地

【電話番号】 03(5216)0606 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 鵜澤 慎一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区麹町一丁目4番地

【電話番号】 03(5216)0606 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 鵜澤 慎一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第96期 第2四半期 連結累計期間		第97期 第2四半期累計期間		第96期	
	自 至	平成23年 4月 1日 平成23年 9月30日	自 至	平成24年 4月 1日 平成24年 9月30日	自 至	平成23年 4月 1日 平成24年 3月31日
営業収益	(百万円)	8,976		7,811		17,703
純営業収益	(百万円)	8,495		7,358		16,728
経常利益	(百万円)	3,771		2,723		7,417
四半期(当期)純利益	(百万円)	2,240		1,790		4,257
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	2,238				
持分法を適用した 場合の投資利益	(百万円)					
資本金	(百万円)	11,945		11,945		11,945
発行済株式総数	(株)	269,264,702		269,264,702		269,264,702
純資産額	(百万円)	74,139		74,000		76,063
総資産額	(百万円)	371,797		371,766		420,961
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	8.73		6.97		16.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)					
1株当たり配当額	(円)					15.00
自己資本比率	(%)	19.9		19.9		18.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	762		4,046		
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	428		338		
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	7,762		13,370		
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	16,496		15,426		

回次	第96期 第2四半期連結会計期間	第97期 第2四半期会計期間
会計期間	自 平成23年 7月 1日 至 平成23年 9月30日	自 平成24年 7月 1日 至 平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	4.52	3.18

- (注) 1. 第96期第2四半期連結累計期間及び第96期第2四半期連結会計期間については、四半期連結財務諸表の数値を記載しております。
2. 平成24年4月1日を効力発生日として連結子会社を吸収合併した結果、当社は連結財務諸表非作成会社となったため、第97期第2四半期累計期間及び第97期第2四半期会計期間については、提出会社の数値を記載しております。なお、第96期については、提出会社の数値を記載しております。
3. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
4. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため、記載しておりません。
5. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容に重要な変更はありません。

なお、平成24年4月1日を効力発生日として、連結子会社であった松井土地建物株式会社を吸収合併いたしました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に異常な変動等はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興関連需要に伴う公共投資や民間設備投資の増加を背景とした回復の動きがあるものの、海外景気減速の影響を受けて輸出や生産が低迷しており、不透明感が強まる状況の中で推移しています。一方で、個人消費は、家計のマインド改善や雇用環境改善の効果もあり、底堅い状況にあります。

日本の株式市場においては、期首に10,000円台であった日経平均株価は、海外経済の減速懸念の高まりを背景にリスク回避の動きが強まり、6月初旬には年初来安値となる8,200円台まで下落しました。その後、経済減速懸念に対する各国の政策期待が高まったこと等から9,100円台まで回復しましたが、スペイン・イタリアの国債利回りの上昇等を受けて再び欧州債務懸念が高まると、7月後半には8,300円台まで再び下落しました。8月以降も、追加金融緩和への期待感が相場を後押しする一方、中国の経済成長に対する減速懸念、及び世界景気への先行き不透明感が高まったことから、方向感の定まらない展開となりました。その後、日米欧の中央銀行による追加金融緩和策の決定を受けて9月半ばには9,200円台まで一時的に回復しましたが、9月末の株価は8,800円台に留まりました。

このような市場環境を受けて、三市場（東京、大阪、名古屋の各証券取引所）合計の株式売買代金は前第2四半期累計期間と比較して15%減少しました。また、当社の主たる顧客層である個人投資家についても、株価低迷の影響から買い余力が低下し取引意欲が減退したことにより動きが全体的に低調となったことに加えて、株価変動率が低水準で推移したことから短期売買をする投資家の動きも鈍くなったことにより、三市場全体の個人の株式委託売買代金は前第2四半期累計期間と比較して16%減少しました。なお、当社の株式委託売買代金についても、前第2四半期累計期間と比較して17%減少しています。

このような事業環境のもと、当第2四半期累計期間において、当社では投資情報ツール「株価ボード」のリニューアル、NetFx（店頭外国為替保証金取引）のスマートフォン対応及びトレーディングツール「NetFxトレーダー」の提供開始、各種キャンペーンの実施等、顧客向けサービスの向上に努めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の営業収益は78億11百万円、純営業収益は73億58百万円となりました。また、営業利益は26億88百万円、経常利益は27億23百万円、四半期純利益は17億90百万円となりました。

なお、当社は、前第2四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を開示しておりましたが、平成24年4月1日を効力発生日とした連結子会社（松井土地建物株式会社）の吸収合併により、連結対象会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(受入手数料)

受入手数料は47億20百万円となりました。そのうち、委託手数料は42億13百万円となりました。なお、株式委託売買代金は前第2四半期累計期間と比較して17%減少いたしました。

(トレーディング損益)

トレーディング損益は0百万円の損失となりました。

(金融収支)

金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は26億36百万円となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は46億71百万円となりました。うち、取引関係費は14億73百万円、事務費は8億23百万円となりました。

(営業外損益)

営業外損益は、合計で36百万円の利益となりました。これは主として、受取配当金26百万円によるものです。

(特別損益)

特別損益は、合計で93百万円の利益となりました。これは主として、子会社の吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差益98百万円によるものです。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末比11.7%減の3,717億66百万円となりました。これは主として、顧客分別金が減少したこと等により、預託金が同11.5%減の2,018億8百万円となったことによるものです。

負債合計は、前事業年度末比13.7%減の2,977億65百万円となりました。これは主として、信用取引貸証券受入金と同39.2%減の275億47百万円、預り金が同11.0%減の1,048億2百万円となったことによるものです。

純資産合計は前事業年度末比2.7%減の740億円となりました。当第2四半期累計期間においては、四半期純利益17億90百万円が計上される一方、平成24年3月期期末配当金38億51百万円の計上を行っております。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、40億46百万円のプラスとなりました。これは、預託金の減少が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億38百万円のマイナスとなりました。これは、無形固定資産の取得による支出が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、133億70百万円のマイナスとなりました。これは、短期借入金の純減少、配当金の支払が主な要因です。

以上の結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、154億26百万円となりました。

なお、当社は、前第2四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を開示しておりましたが、平成24年4月1日を効力発生日とした連結子会社（松井土地建物株式会社）の吸収合併により、連結対象会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因について

当社の主たる事業は、個人投資家向けの株式委託売買業務であり、収入項目としては受入手数料、とりわけ株式売買に関する委託手数料が当社の業績に重要な影響を及ぼします。また、主として信用取引に起因する金融収益についても当社の業績に重要な影響を及ぼす要因となります。しかしながら、その水準は、株式市場の相場環境に大きく左右されます。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社は、信用取引貸付金の増減等に対応した経常的な調達について、銀行等金融機関からの借入金を中心に対応しております。当社は、金融機関からの借入金以外にも、従来よりコール・マネーの調達、各種社債の発行を行う等、資金調達源の多様化にも努めております。また、借り換え等を行う際における市場の混乱等によるリスクを低減させるため、銀行等金融機関とコミットメントライン契約を締結しております。なお、社債による資金調達を機動的に行えるよう、発行登録を行っております。

(6) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(7) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,050,000,000
計	1,050,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	269,264,702	269,264,702	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	269,264,702	269,264,702		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年 7月 1日 ~ 平成24年 9月30日		269,264,702		11,945		9,793

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
松井 千鶴子	東京都文京区	57,142	21.22
有限会社丸六	東京都文京区西片2丁目4番2号	33,866	12.58
有限会社松興社	東京都文京区西片2丁目4番2号	27,522	10.22
TAIYO FUND, L. P. (常任代理人 シティバンク銀行 株式会社)	40 RAGSDALE DRIVE, SUITE 200 MONTEREY, CA 93940 US (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	12,898	4.79
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	8,885	3.30
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	8,400	3.12
松井 道夫	東京都文京区	8,001	2.97
松井 道太郎	東京都文京区	7,762	2.88
松井 千明	東京都文京区	7,762	2.88
松井 佑馬	東京都文京区	7,762	2.88
計		180,000	66.85

(注) 1 上記のほか当社所有の自己株式12,533千株(4.65%)があります。

2 当第2四半期会計期間末現在における、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の信託業務に係る株式数は、当社として把握することができないため記載しておりません。

3 タイヨウ・ファンド・マネジメント・カンパニー・エルエルシー及びその共同保有者であるタイヨウ・ブルー・ジー・ピー・エルエルシーから平成24年8月8日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により、平成24年8月1日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
タイヨウ・ファンド・ マネジメント・ カンパニー・エルエルシー	アメリカ合衆国、ワシントン州98033、 カークランド、キャリロンポイント5300	12,898	4.79
タイヨウ・ブルー・ジー・ ピー・エルエルシー	アメリカ合衆国、デラウェア州19808、 ウィルミントン、スート400、 センターヴィルロード2711	566	0.21
計		13,464	5.00

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,532,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 256,718,700	2,565,873	
単元未満株式	普通株式 13,102		
発行済株式総数	269,264,702		
総株主の議決権		2,565,873	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が400株、信用取引貸付金の自己融資見返り株式が131,400株含まれております。また、「議決権の数」欄には証券保管振替機構名義の完全議決権株式にかかる議決権の数4個が含まれております。なお、「議決権の数」欄には信用取引貸付金の自己融資見返り株式の完全議決権株式にかかる議決権の数1,314個は含まれておりません。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式47株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 松井証券株式会社	東京都千代田区麹町 一丁目4番地	12,532,900		12,532,900	4.65
計		12,532,900		12,532,900	4.65

2 【役員の状況】

平成24年6月18日付の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、当該有価証券報告書に記載した事項を除き、該当事項はありません。

3 【業務の状況】

(1) 受入手数料の内訳

期別	区分	株券 (百万円)	債券 (百万円)	受益証券 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	委託手数料	4,906		48	285	5,239
	引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	0				0
	募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	0				0
	その他の受入手数料	255		2	279	536
	計	5,161		50	564	5,775
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	委託手数料	4,081		37	95	4,213
	引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	5				5
	募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	0				0
	その他の受入手数料	274		3	225	502
	計	4,360		41	320	4,720

(2) トレーディング損益の内訳

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)			当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)		
	実現損益 (百万円)	評価損益 (百万円)	計 (百万円)	実現損益 (百万円)	評価損益 (百万円)	計 (百万円)
株券等トレーディング損益	17	0	17	1	0	1
債券等・その他の トレーディング損益	39	0	39	1	0	1
債券等 トレーディング損益 その他の トレーディング損益	39	0	39	1	0	1
計	56	0	57	0	0	0

(3) 有価証券の売買等業務の状況

1) 有価証券の売買の状況（先物取引を除く）

株券

期別	受託（百万円）	自己（百万円）	合計（百万円）
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	3,969,377	515	3,969,892
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	3,279,335	2	3,279,337

（信用取引の状況）

上記のうち、信用取引の状況は次のとおりであります。

期別	受託（百万円）	自己（百万円）	合計（百万円）
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	2,381,719	149	2,381,867
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	2,024,091		2,024,091

債券

期別	受託（百万円）	自己（百万円）	合計（百万円）
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)			
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)			

受益証券

期別	受託（百万円）	自己（百万円）	合計（百万円）
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	52,226	249	52,476
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	36,549		36,549

その他

期別	新株予約権証書など (百万円)	コマーシャル・ ペーパー (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)			7,709	7,709
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)			2,712	2,712

(注) 「その他」は信託法に規定する受益証券発行信託の受益証券であります。

(受託取引の状況)

上記のうち、受託取引の状況は次のとおりであります。

期別	新株予約権証書など (百万円)	コマーシャル・ ペーパー (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)			7,709	7,709
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)			2,712	2,712

(注) 「その他」は信託法に規定する受益証券発行信託の受益証券であります。

2) 証券先物取引等の状況

株式に係る取引

期別	先物取引		オプション取引		合計 (百万円)
	受託 (百万円)	自己 (百万円)	受託 (百万円)	自己 (百万円)	
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	5,160,893		9,598,414	204	14,759,511
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	8,088,516		13,299,577		21,388,093

債券に係る取引

期別	先物取引		オプション取引		合計 (百万円)
	受託 (百万円)	自己 (百万円)	受託 (百万円)	自己 (百万円)	
前第2四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)					
当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)					

3) 有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、売出し及び
私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況

株券

期別	引受高 (百万円)	売出高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の総額 (百万円)	募集の 取扱高 (百万円)	売出しの 取扱高 (百万円)	私募の 取扱高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の取扱 高 (百万円)
前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	7	7		3			
当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	288	288		2			

債券

期別	種類	引受高 (百万円)	売出高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の総額 (百万円)	募集の 取扱高 (百万円)	売出しの 取扱高 (百万円)	私募の 取扱高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の取扱 高 (百万円)
前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	国債							
	地方債							
	特殊債							
	社債							
	外国債							
	合計							
当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	国債							
	地方債							
	特殊債							
	社債							
	外国債							
	合計							

受益証券

期別	引受高 (百万円)	売出高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の総額 (百万円)	募集の 取扱高 (百万円)	売出しの 取扱高 (百万円)	私募の 取扱高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の取扱 高 (百万円)
前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)				1,177			
当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)				376			

その他

期別	種類	引受高 (百万円)	売出高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の総額 (百万円)	募集の取 扱高 (百万円)	売出しの 取扱高 (百万円)	私募の取 扱高 (百万円)	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の取扱 高 (百万円)
前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	コマーシャル・ペーパー							
	外国証券							
	その他							
当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	コマーシャル・ペーパー							
	外国証券							
	その他							

(4) 自己資本規制比率

		前第2四半期 会計期間末 (平成23年9月30日現在)	当第2四半期 会計期間末 (平成24年9月30日現在)
基本的項目	(百万円)	74,043	74,000
補完的項目	その他有価証券 評価差額金(評価益)等 (百万円)		
	金融商品取引責任 準備金等 (百万円)	1,108	1,067
	一般貸倒引当金 (百万円)	13	6
	長期劣後債務 (百万円)		
	短期劣後債務 (百万円)		
	計 (百万円)	1,121	1,073
控除資産	(百万円)	8,189	6,939
固定化されていない 自己資本	+ - (A) (百万円)	66,975	68,133
リスク相当額	市場リスク相当額 (百万円)	0	0
	取引先リスク相当額 (百万円)	3,365	3,169
	基礎的リスク相当額 (百万円)	2,157	2,099
	計(B) (百万円)	5,523	5,269
自己資本規制比率	(A) / (B) × 100 (%)	1,212.5	1,293.0

(注) 数値は百万円未満を切り捨てて表記しております。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)並びに同規則第54条及び第73条の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)及び「有価証券関連業経理の統一に関する規則」(昭和49年11月14日付日本証券業協会自主規制規則)に準拠して作成しております。

当社は、下記「3．四半期連結財務諸表について」に記載の理由により、当第2四半期会計期間及び当第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成せず、四半期財務諸表を作成することとなりました。前第2四半期会計期間及び前第2四半期累計期間においては、四半期財務諸表を作成していないため、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書は記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、平成24年4月1日を効力発生日とした連結子会社(松井土地建物株式会社)の吸収合併により、連結対象会社が存在しなくなったため、当第2四半期会計期間及び当第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	16,204	6,258
預託金	227,911	201,808
金銭の信託	9,608	10,167
トレーディング商品	1,687	2,502
商品有価証券等	0	0
デリバティブ取引	1,687	2,502
約定見返勘定	1	101
信用取引資産	135,011	128,049
信用取引貸付金	126,087	122,732
信用取引借証券担保金	8,924	5,317
有価証券担保貸付金	14,689	7,702
借入有価証券担保金	14,689	7,702
立替金	21	37
短期差入保証金	3,337	3,878
その他	5,077	4,782
貸倒引当金	13	6
流動資産計	413,532	365,279
固定資産		
有形固定資産	771	983
無形固定資産	4,018	3,546
ソフトウェア	4,012	3,541
その他	6	6
投資その他の資産	2,640	1,958
投資有価証券	214	214
関係会社株式	450	-
その他	4,269	3,904
貸倒引当金	2,293	2,161
固定資産計	7,429	6,487
資産合計	420,961	371,766

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	286	174
商品有価証券等	0	-
デリバティブ取引	286	174
信用取引負債	47,425	29,605
信用取引借入金	2,148	2,057
信用取引貸証券受入金	45,277	27,547
有価証券担保借入金	5,735	5,894
有価証券貸借取引受入金	5,735	5,894
預り金	117,813	104,802
受入保証金	113,646	107,139
短期借入金	56,550	47,050
未払法人税等	1,129	905
賞与引当金	93	41
その他	922	881
流動負債計	343,600	296,491
固定負債		
長期借入金	25	-
未払役員退職慰労金	204	204
その他	2	3
固定負債計	231	207
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1,067	1,067
特別法上の準備金計	1,067	1,067
負債合計	344,898	297,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,945	11,945
資本剰余金	9,793	9,793
利益剰余金	63,802	61,741
自己株式	9,475	9,475
株主資本合計	76,065	74,004
評価・換算差額等		
其他有価証券評価差額金	2	4
評価・換算差額等合計	2	4
純資産合計	76,063	74,000
負債・純資産合計	420,961	371,766

(2)【四半期損益計算書】
 【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	
受入手数料	4,720
委託手数料	4,213
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	5
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	0
その他の受入手数料	502
トレーディング損益	0
金融収益	3,089
その他の営業収益	2
営業収益計	7,811
金融費用	453
純営業収益	7,358
販売費・一般管理費	
取引関係費	1,473
人件費	911
不動産関係費	466
事務費	823
減価償却費	895
租税公課	54
貸倒引当金繰入れ	15
その他	64
販売費・一般管理費計	4,671
営業利益	2,688
営業外収益	
受取配当金	26
その他	10
営業外収益計	36
営業外費用	
その他	0
営業外費用計	0
経常利益	2,723
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	98
特別利益計	98
特別損失	
固定資産除売却損	5
特別損失計	5
税引前四半期純利益	2,817
法人税、住民税及び事業税	883
法人税等調整額	144
法人税等合計	1,027
四半期純利益	1,790

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	2,817
減価償却費	895
貸倒引当金の増減額（は減少）	138
賞与引当金の増減額（は減少）	53
受取利息及び受取配当金	2,880
支払利息	266
抱合せ株式消滅差損益（は益）	98
固定資産除売却損益（は益）	5
預託金の増減額（は増加）	26,100
トレーディング商品の増減額	927
約定見返勘定の増減額（は増加）	100
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	10,859
有価証券担保貸付金の増減額（は増加）	6,986
立替金及び預り金の増減額	13,029
有価証券担保借入金の増減額（は減少）	159
受入保証金の増減額（は減少）	6,507
短期差入保証金の増減額（は増加）	541
その他	744
小計	2,841
利息及び配当金の受取額	2,562
利息の支払額	250
法人税等の支払額	1,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	7
無形固定資産の取得による支出	330
その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	338
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（は減少）	9,500
長期借入金の返済による支出	25
自己株式の取得による支出	0
配当金の支払額	3,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	9,662
現金及び現金同等物の期首残高	24,812
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	275
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,426

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対 照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年9月30日現在)	
現金・預金	6,258百万円
金銭の信託	10,167 "
金銭の信託のうち受入保証金の 分別管理を目的とするもの	1,000 "
現金及び現金同等物	<u>15,426百万円</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月24日 定時株主総会	普通株式	3,851	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

平成24年4月1日の連結子会社の吸収合併により、前事業年度末に450百万円計上されていた関係会社株式がなくなりました。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社は、オンライン証券取引サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6円97銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(百万円)	1,790
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,790
普通株式の期中平均株式数(株)	256,731,785

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

松井証券株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大 木 一 昭 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 辻 村 和 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている松井証券株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第97期事業年度の第2四半期会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、松井証券株式会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。